

医学教育・薬理-病理 研究における

薬理-病理

連携の実現に向けて

日時 12月2日(金) 8:30～9:45

会場 第2会場

《オーガナイザー・座長》

池原 譲 / 安西 尚彦

千葉大学 腫瘍病理学

千葉大学 薬理学

1 イントロダクション

「ダイナミック・ケイパ
ビリティ」としての
薬理-病理連携

Pharmacology



安西尚彦
千葉大学

2 創薬研究における薬理

病理連携の必要性：
薬理学の立場から

Pharmacology



金井好克
大阪大学

3 医学教育における薬理

病理連携：
“Pharmaco-pathology”
(薬理病理学)の提案

Pathology



池原 譲
千葉大学

4 創薬研究における薬理

病理連携の必要性：
病理学の立場から

Pathology



森井英一
大阪大学

5 創薬研究における薬理

病理連携の必要性：
産業界の立場から

Industry



中島元夫
SBIファーマ株式会社

6 創薬研究における薬理

病理連携の必要性：
毒性学の立場から

Toxicology



北嶋 聡
国立医薬品食品衛生
研究所

7 ラウンドディスカッション

医学部基礎医学教室の未来：
「限界集落」からの
脱却に向けて

Pharmacology



コメンテーター
杉山 篤
東邦大学

お問い合わせ

第96回日本薬理学会 年会長 安西尚彦

千葉大学大学院医学研究院 薬理学 jps96nenkai@gmail.com

<https://www.congre.co.jp/jpw2022/index.html>